

(3) 地球温暖化防止対策及び環境配慮の推進に向けた基本的な考え方等

エネルギーの管理・合理化、温室効果ガス発生の管理・抑制、環境配慮に向けた取組についての基本的な考え方と、これまでの取組実績や具体的なノウハウなどアピールしたい内容等を記入してください。

(3) 地球温暖化防止対策及び環境配慮の推進に向けた基本的な考え方等

人類の活動が原因となり進行している地球温暖化は、一朝一夕には解決できない大きな問題ですが、地球上のすべての人、とりわけ大きな影響を及ぼしてきた先進国の人々は、温暖化がもたらす様々な影響について意識し、その防止に向けて一人ひとりができることに取り組む責務があります。

札幌市では平成 20 年に「環境首都・札幌」宣言を世界に向けて発信し、平成 30 年には「第 2 次札幌市環境基本計画」を策定し、2050 年に向けた札幌市の環境の将来像として、『次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な都市「環境首都・SAPP_RO」』を掲げています。

また、令和 2 年 2 月には、「ゼロカーボン都市」達成に向けた宣言、令和 3 年 3 月には、「札幌市気候変動対策行動計画」を策定するとともに、「札幌市気候非常事態宣言」を発し、持続可能な脱炭素社会の構築に向け、気候変動対策への取組強化を呼びかけています。

今後は生物多様性の保全や、資源・エネルギーの有効活用などの要素に加え、市民の意識や取組をより一層高め、市民協働による「持続可能なまちづくり」を推進することが特に求められています。

緑化協会では、平成 17 年度に環境マネジメントシステム（以下、「EMS」と略します。）を構築して運用を開始し、平成 18 年 3 月に ISO14001 の認証を取得しました。

そして、平成 25 年 5 月には北海道環境マネジメントシステムスタンダード（HES）の認証（ステップ 1）を取得し、ISO14001 から切り替えて、自主性・効率性を重視した環境活動の取組を継続しています。

緑化協会は、市民の財産である公園の管理において、市民の「環境に対する厳しい目」に応えていくとともに、公園利用を通じて、市民に環境について考え、学び、行動する機会を提供する必要があると考えます。

当公園の管理運営においても、緑化協会が運用する EMS に基づいて、環境への配慮に積極的に取り組みます。



(3) - 1 取組についての基本的な考え方

当公園及び周辺地域は緑豊かな環境を有することから、これら環境の保全と環境意識の啓発は公園管理において重要であり、当公園は、市民にとってかけがいのない特徴のある緑空間であることから、この良好な環境の保全と市民利用の両立を図れるよう、しっかりした環境配慮の意識を持って管理を行っていきます。

緑化協会では、環境に配慮した公園管理の実施にあたって、次ページに示す「公益財団法人札幌市公園緑化協会環境方針」をその基本的な考えとします。

公益財団法人札幌市公園緑化協会 環境方針

基本理念

「緑」に象徴される植物は、長い年月をかけて大気に酸素を供給するとともに食物連鎖の基盤として、多様な生命の営みを支えてきました。私たちが生活を営む人間社会も、この「緑」を抜きには成り立ちません。

人間社会は、特に 20 世紀後半以降の科学技術の急速な進歩によって、非常に便利で豊かになりました。しかし、人口の増加や経済活動の拡大などによって、化石燃料などの地球資源は急速に消費され、その過程で発生する二酸化炭素や各種の有害な廃棄物などが増加しました。その結果、地球温暖化、大気汚染、海洋汚染、生物種の減少・絶滅など、地球規模の環境破壊が急激な速度で進行しています。

私たちは、現在の豊かな生活を無条件には享受できない状況に置かれています。私たち人間が生きて生活する地球の環境を守り、次の世代に引き継ぐ責務を負っていることを一人ひとりが自覚して行動する必要があります。

【公益財団法人札幌市公園緑化協会】は、公園緑地の良好な管理運営と都市緑化の普及啓発を図ることによって、市民に快適な生活環境を提供するための事業を推進します。同時に、私たちは市民とともに、「緑」の創出・保全を図ることで地球環境の改善に最大限努力します。

この取組みを適切に維持するために、当協会では環境マネジメントシステムを構築し、運用します。

基本方針

「緑」を通じた快適な生活環境づくりと地球環境の保全に寄与するため、次の方針に基づき、日々の事業活動に取り組みます。

1 環境経営の推進

地球環境への影響低減・環境保全への取組みが、当協会の事業目的の達成にも資することを旨とした「環境経営」を推進するため、環境マネジメントシステムを活用します。

2 環境パフォーマンスの継続的改善

環境目的・目標を定め、その達成に向けて努力するとともに、定期的な検証と見直しを行うことにより、環境パフォーマンスを向上させるための継続的な改善を図ります。

3 環境意識の啓発

当協会の事業活動に関わる人々のほか、広く市民に対して地球環境の大切さを啓発し、環境保全に対する意識の向上、社会的合意形成の強化に貢献します。

4 環境の維持・改善

日常の事業活動においては特に、省資源・省エネルギー、廃棄物の削減及びリサイクルの推進等により、環境負荷の低減と生物多様性の保全に努めます。

5 環境に関する危機管理の徹底

突発的な事故や自然災害によって生じるおそれのある環境への悪影響について、予防措置を講じるとともに、被害を最小限に留めるための取組みに努め、環境汚染に対する危機管理を徹底します。

6 法律等の順守

地球環境保全に誠実に取り組む前提として、環境関連の法律・条例等を順守し、また当協会が同意する外部との環境に関わる取決め等についても、これを守ります。

この環境方針は、職員をはじめ当協会の事業活動に関わる全ての人に周知徹底するとともに、外部に公表します。

2022年4月1日

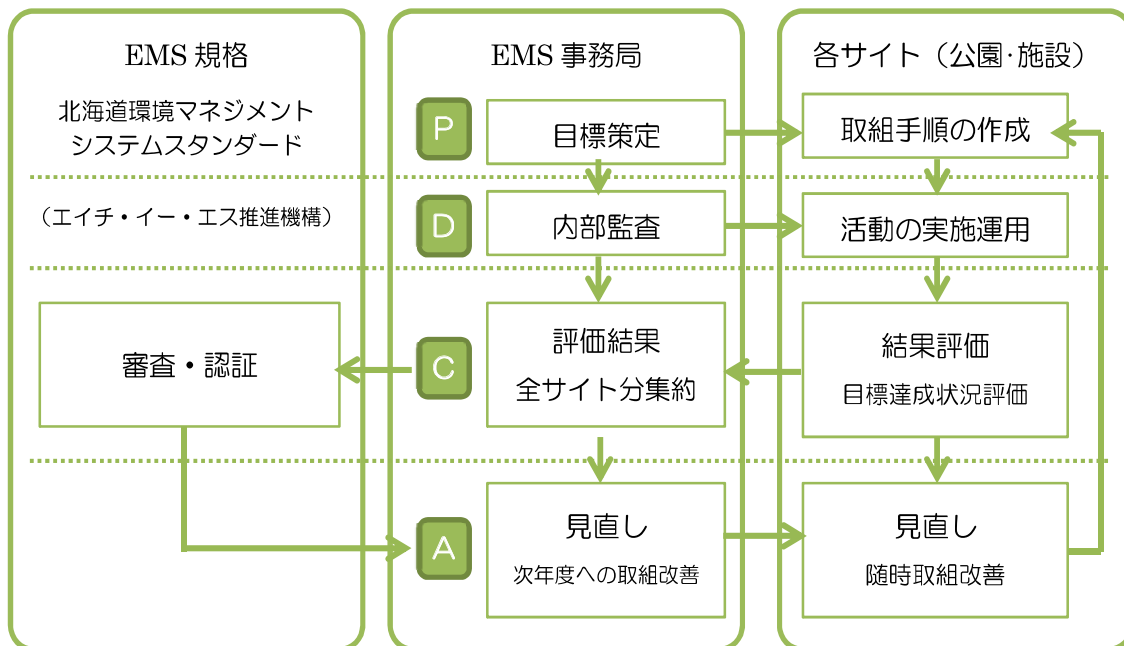
公益財団法人札幌市公園緑化協会

理事長 近藤 哲也

(3) - 2 緑化協会におけるこれまでの取組・成果

緑化協会は、EMSにおいて毎年環境目標を設定し、全スタッフの教育・訓練を実施して環境活動に取り組んでいます。

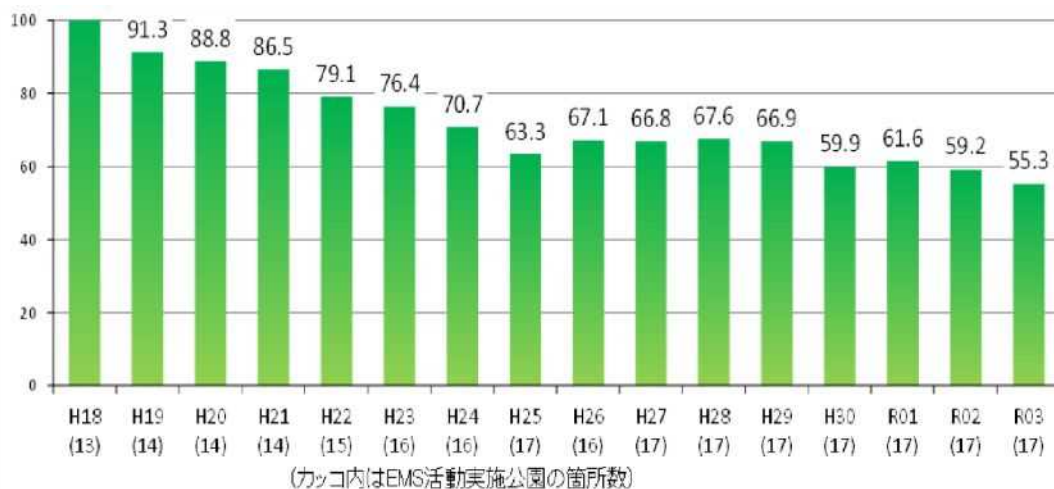
当協会EMSにおける環境目標達成に向けた活動の流れ



これまで様々な目標を設定して活動してきましたが、近年は、公園・施設の管理運営における市民協働の推進や、生物多様性保全等の事業内容に即した視点で独自の目標を設定し、効果的な環境活動を目指しています。緑化協会のEMSにおける平成18年度から現在までの目標は次のとおりです。

実施年度	緑化協会 EMS の目標
平成 18-19	電気使用量削減、事務用品グリーン購入率向上、植物系廃棄物の再資源化 民有地緑化普及事業の利用増、一般廃棄物排出量削減、緑化講習会等の参加者増
平成 20	電気使用量削減、事務用品グリーン購入率向上 民有地緑化普及事業の利用増、一般廃棄物排出量削減、緑化講習会等の参加者増
平成 21-23	一般廃棄物排出量削減、緑化講習会等の参加者増、業務改善・新規事業等の提案 時間外勤務時間削減、食用廃油回収量増
平成 24	OA 用紙使用量削減、ボランティア活動延べ時間増加、特定外来生物の侵入軽減 食用廃油回収量増
平成 25-27	電気使用量削減、ボランティア活動延べ時間増加、特定外来生物の侵入軽減 食用廃油回収量増
平成 28-現在	電気使用量削減、残業時間削減（電気使用量削減、ワーク・ライフ・バランス推進） 特定外来生物の侵入軽減、食用廃油回収量増

EMSによる環境活動の中でも、特にエネルギー使用量の削減は、温室効果ガスを抑制し、経費節減にも直結することから、最優先の課題として取り組んできました。これまで、電気・燃料等の項目別に、各公園で個別に効果的な手順を策定して取り組み、測定結果に基づき常に改善を進めてきた結果、主要公園で指定管理者制度が始まった平成18年度との比較で、令和3年度には以下のとおり44.7%の削減を達成しています。



緑化協会の管理公園・施設におけるエネルギー使用量の推移（平成18年度を100としたEMS活動実施公園・施設の平均値）

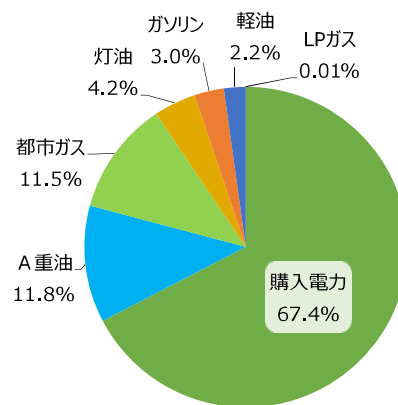
エネルギー使用量のうち、最も比率の高い電気使用量については、その抑制を継続してEMSの目標に設定しており、細かな節電の積み重ねやLED照明への転換の推進、公園・施設利用に支障とならない範囲での照明・機器類の運用の見直しなど、細かな節電の積み重ねにより削減に努めています。

化石燃料については、基本的な節約の取組以外にも、環境への負荷が少ないBDF（バイオ・ディーゼル・フェューエル）混合燃料を使用しており、百合が原公園緑のセンター、川下公園リラククスプラザのボイラー燃料にはB10重油（BDF10%混用A重油）を、百合が原公園リリートレインや一部公園の業務車両の燃料にはB5軽油（BDF5%混用軽油）を導入しています。

また、緑化協会が管理する主要公園・施設に使用済み食用油の回収ボックスを設置して、公園で使用している低環境負荷燃料の原料とすることで、市民がリサイクルの成果を実感し、環境保全意識を高めることにつなげています。

緑化協会は、EMSの認証を取得して環境に配慮した取組を自主的に行っている事業所として、平成20年8月に「さっぽろエコメンバー」レベル3に登録し3年毎の更新を続け、現在に至っています。また、平成21年4月からさっぽろエコメンバー登録事業所は、同時に、北海道が実施する北海道グリーン・ビズ認定制度「優良な取組」部門の登録事業所になることから、平成23年8月の更新時には北海道グリーン・ビズ認定制度において「優良な取組」部門ランク3に登録し、同様に更新を続けています。

緑化協会以外は、スペース・デザインがさっぽろエコメンバーのレベル2に、マルミプラスがレベル3に登録されています。



緑化協会のエネルギー使用量の項目別比率（令和3年度）

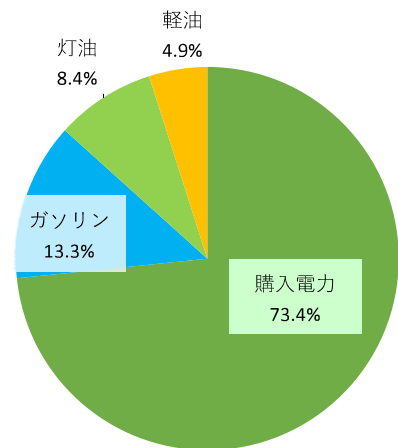


(3) - 3 当公園におけるこれまでの取組

当コンソーシアムでは、当公園の管理において、緑化協会のEMSに基づき、積極的に環境活動に取り組んできました。

当公園のエネルギー使用量の内訳については、上下水道の給水・排水にもポンプ設備の稼働が必要であることから、電気が73.4%とエネルギー使用量の約4分の3を占め、続いて緑地管理機械の動力燃料であるガソリンと軽油、暖房用灯油等の化石燃料が約4分の1という構成になっています。

EMSの運用により電気使用量及び化石燃料の使用量削減に取り組んだ結果、平成30年の使用量を100とした場合、電気使用量は98.9%、化石燃料使用量は92.2%となっており、削減効果が表れています。



当公園におけるエネルギー使用量の項目別比率 (R3)

(3) - 4 当公園における今後の取組

令和4年度、緑化協会がEMSで取り組む目標は、次のとおりです。

緑化協会 EMS の環境目標 (R4)
・電気使用量の削減
・ノー残業デーの超過勤務時間の削減
・特定外来生物の侵入軽減
・食用廃油の回収量増加 (当公園のほか一部公園)

今後も、緑化協会のEMSに基づく取組を継続するほか、生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワークへの加入を継続し、植物残渣のリサイクル、講習会などを通じての環境教育に取り組めます。その他、環境配慮に関連する具体的な取組として、当公園では次に示した項目について、スタッフ全員で取り組めます。また、スタッフから環境配慮のアイデア、工夫等の提案を募り、積極的に取り入れて改善に努めます。

④ 物品やサービスの購入時の取組

項目	具体的取組
グリーン購入	事務用品はグリーン購入法適合品を選択
長寿命の見込める商品の選択	長期的視点での機種選択 (耐久性、メンテナンスや部品交換の容易さ)
地域の産品や企業の積極的選択	地域振興への貢献及びマイレージ (輸送に係る環境コスト) を小さくする考え方で選択

② 物品やサービスの使用時の取組

項目	具体的取組
電力使用量の削減	エコスタイル（服装と温度設定）の実施 屋内照明の積極的な消灯（不要箇所、外光利用） 就業時刻前、昼休みの消灯（管理スペース） OA 機器類の適切な節電設定 週 1 日ノー残業デーを設ける 照明器具の定期的清掃 省エネ型自販機の選択導入 積雪期等の不要な園路灯の消灯
水の使用量の削減	手洗い蛇口、トイレ等の吐出量の調整
OA 用紙使用量の削減	両面コピーの徹底、裏面利用（メモ用紙等） 電子データ化・電子決裁の推進 勤怠管理システムの導入
化石燃料使用量の削減 （暖房、作業機械）	エコスタイルの実施（ウォームビズ） BDF 配合燃料の使用（リリートレイン、作業機械の一部） 暖房器具の適正な運転、点検整備 作業機械の定期点検整備、作業時の出力調整
自動車燃料使用量の削減	環境性能に優れた車種の導入（エコドライブ表示付き車種の一部導入） アイドリングストップの励行 急発進、急加速、空ふかしをしない タイヤ空気圧の点検・調整 経済速度の遵守 不要な荷物を積載したままにしない

③ 廃棄物に関する取組

項目	具体的取組
ごみ排出量の削減	自販機業者によるビン・缶・ペットボトル回収 利用者へのごみ持ち帰り協力の周知 ごみ発生量の少ない商品の選択 （簡易包装、繰り返し使用、詰替え等）
植物系廃棄物の再資源化、有効活用	管理等で発生した植物系廃棄物（剪定枝、間伐材）のリサイクル使用 剪定枝、つる、木の実等を工作等の素材に利用

④ 生物多様性保全に関わる取組

項目	具体的取組
在来種の保全	在来種の生息・分布状況調査 外来種の調査・駆除
生物多様性保全に関する教育普及	地域の自然、植生、生物等についての教育普及 外来種等の問題に対する普及啓発
減農薬管理	木酢やフェロモントラップなどを活用した植物の病虫害対策
生物多様性に関わる連携	生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワークに参加し活動拠点施設として登録

(3) - 5 当公園における電力の調達を予定している小売電気事業者

当公園における電力を調達している小売電気事業者 2 社は令和 5 年度の「環境配慮評価基準」を満たすことが見込まれることから契約を継続し、当該の小売電気事業者 2 社から電力を調達します。

なお、契約している小売電気事業者が令和 5 年度の「環境配慮評価基準」を満たさなかった場合は緑化協会の規定に則し入札等を行い、環境配慮評価基準を満たす小売電気事業者から電力を調達します。

2 統括管理業務の実施内容

(1) 管理運営組織の確立

ア 責任者の配置、組織の整備

統括管理責任者の配置に関する基本的考え方（統括管理責任者としての資質、経歴、資格等）と統括管理責任者の確保の方策（団体で既に確保している場合にはその旨）を記してください。

また、都市公園の適切な管理運営を確保するための組織編制に当たっての基本的な考え方を示し、具体的な運営体制（業務分担及び指揮命令系統、緊急時の連絡系統、その他必要な内容）を示してください。

運営体制については、別に組織図を作成し提出してください。

2 統括管理業務の実施内容

(1) 管理運営組織の確立

ア 責任者の配置、組織の整備

ア-1 当公園の管理運営体制

当コンソーシアムは構成団体による分業・協働体制をとり、相互の緊密な連絡と情報共有を徹底し、当公園の適切な管理運営に努めます。業務分担は次のとおりです。

① 業務の分担と配置

構成メンバー	担当業務内容
緑化協会	【企画運営、普及啓発、市民団体との連携等業務】 前田森林公園に管理事務所を置いて業務全般を統括・主導し、計画策定、業務の実施、報告等について指示、調整します。
スペース ・デザイン	【星置公園・明日風公園植物等の維持管理業務】 緑地管理業務を担当し、業務を効率的に遂行します。
マルミプラス	【山口緑地パークゴルフ場西コース】 緑地管理業務を担当し、業務を効率的に遂行します。
横山造園	【山口緑地西エリア】 緑地管理業務を担当し、業務を効率的に遂行します。

② 連絡・情報共有の体制

毎朝、スタッフ間でミーティングを行い、作業や園内状況等の情報を共有し、これまで培ってきたノウハウを生かし業務に取り組んでいきます。また、報告等が必要な内容は、マネージャーが集約し情報を共有します。

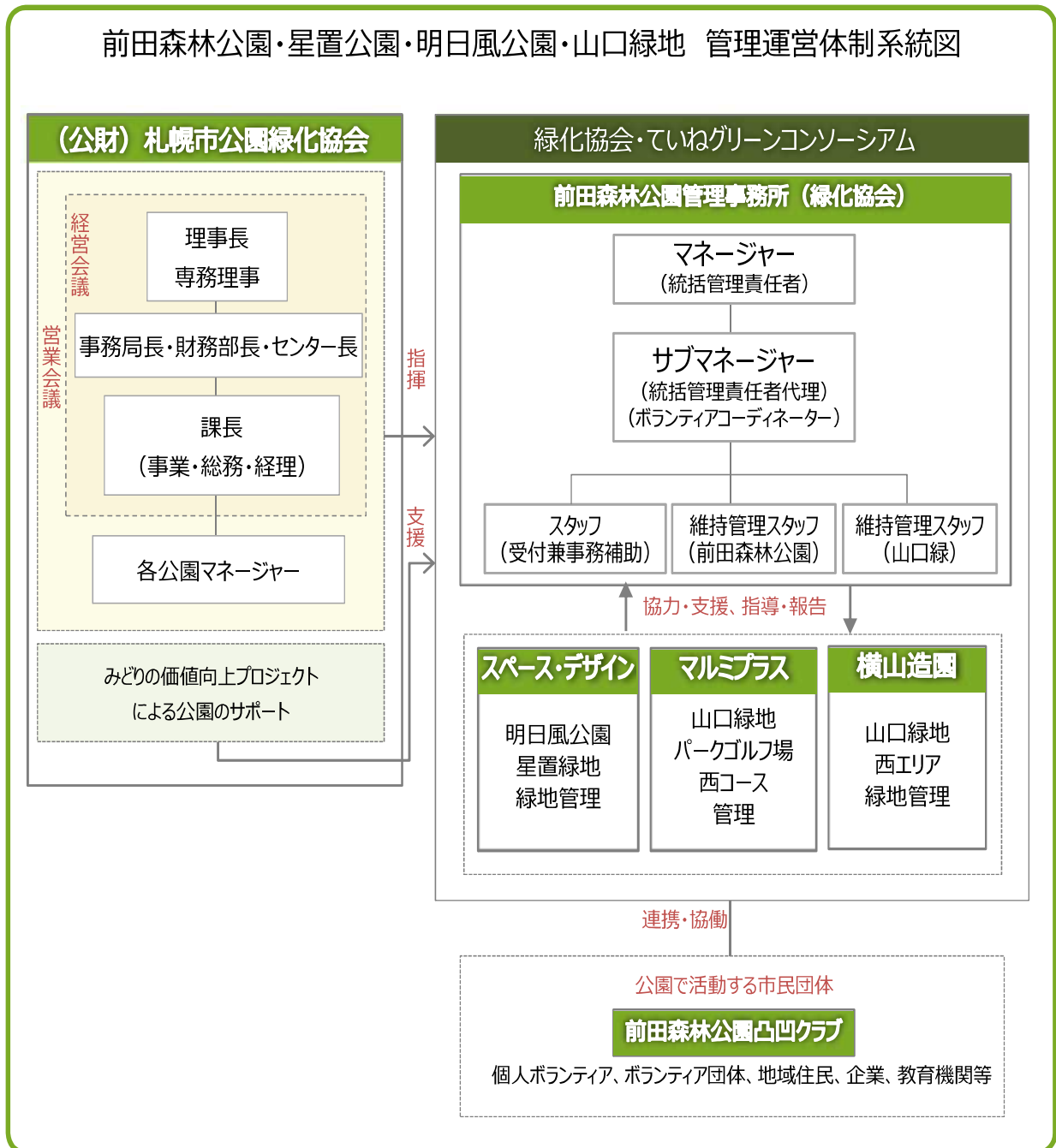
このほか、適宜コンソーシアムの連絡会議を行い、連絡・情報共有の徹底を図ります。

③ 管理運営系統

常駐スタッフのほか、各構成団体の本社や他公園スタッフ等の支援により、当公園の管理運営にあたります。

また、業務や事業等の必要に応じて、緑化協会の組織横断的な事業推進体制である「みどりの価値向上プロジェクト」（P.24）が全面的に支援に当たります。

前田森林公園・星置公園・明日風公園・山口緑地 管理運営体制系統図



ア-2 マネージャー（統括管理責任者）の配置

当公園の現場責任者であるマネージャー（統括管理責任者）には、豊かな公園管理運営経験や施設管理などの資格を有する、緑化協会の正職員を配置します。また、マネージャーの不在時に対応するためにサブマネージャー（統括管理責任者代理）を配置します。

当公園のマネージャーには、次の資質を持った人材を配置します。

- ・市民や利用者の立場に立った管理運営と企画立案ができること
- ・リーダーシップを発揮し、よりよい組織づくりと人づくりができること
- ・経営感覚を持って公園を管理運営できること

マネージャーは、公園における各種事業の企画立案及び実施、札幌市等との協議・調整、その他業務全体を統括し、責任を持って一元的に対応します。また、マネージャーは公園の全スタッフを指揮し、管理運営を円滑に行います。

統括管理責任者の経歴と資格

統括管理責任者	実務経験年数	資格
マネージャー	公園管理経験 25年	1級造園施工管理技士(監理技術者)・公園管理運営士・1級土木施工管理技士・上級体育施設管理士・イベント業務管理士・ピオトープ施工管理士・自然再生士・土づくりアドバイザー・グリーンアドバイザー・芝草管理技術者・北海道ガーデニングマイスター・第1種衛生管理者・2級ボイラー技士・北海道農業指導士・乙種4類危険物取扱者・特別管理産業廃棄物管理責任者・防火・防災対象物点検資格者・防災士・酸素欠乏作業主任者・足場作業主任者・プール衛生管理者・プール施設管理士・職長安全衛生責任者・メンタルヘルス・マネジメント・その他公園緑地管理関連機械取扱作業免許類ほか

ア-3 管理体制（緑化協会の組織体制）

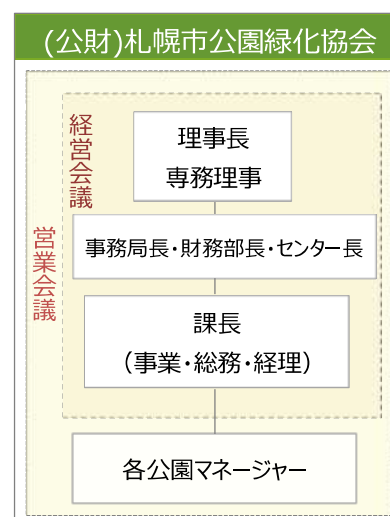
当コンソーシアムの代表団体である緑化協会は、以下の組織体制及び指揮系統により当公園を管理運営します。

① 業務執行機関及び業務指揮

緑化協会は、評議員会を法人の最高意思決定機関、理事会を業務執行機関とし、代表である理事長は業務執行の最高責任者として緑化協会全体を指揮します。

専務理事は、理事長を補佐する業務執行の責任者で、経営的立場から理事長とともに業務を統括します。

事務局長は、事務及び業務を統括的に指揮監督します。公園・施設の管理運営執行責任者である課長は、公園・施設のマネージャーとスタッフあるいは事務局のスタッフを指揮して、各現場の業務を円滑に執行します。



② 経営会議及び営業会議

理事長、専務理事、事務局長、センター長（国営滝野すすらん丘陵公園）、課長等によって構成する経営会議は、緑化協会全体の事業の円滑な執行を図るため、経営的な観点から執行状況を検証し、指揮監督します。

経営会議の下に、全公園・施設のマネージャー等で構成する営業会議を設置し、各現場の状況を互いに報告し意見交換を行うことで、業務の点検・改善を行い円滑な業務執行を図ります。

③ 事務局

事務局には、事務局長以下、事業課、総務課、経理課スタッフが常勤し、協会内部及び外部との連絡調整を行うほか、公益事業・収益事業の対応も含め庶務・経理を統括し、法人の中核管理機能を果たします。上記①～③の体制・指揮系統のもと、公益法人として法令を遵守し、各種サービスの向上、利用者の平等・公平性の確保、安全・安心と快適性の確保に組織的かつ効率的に取り組みます。

また、業務に関連する各種資格や知識、技術を有する事務局スタッフは、必要に応じて各現場の実施事業の支援に入り、よりクオリティの高い運営を支援します。

ア-4 業務分担の内訳

当公園の管理運営においては、スタッフが次の職務分担表のとおり各業務を担当し、効果的・効率的かつ円滑に業務を執行します。大規模イベント開催時など人員が不足する場合や、当公園スタッフだけでは対応が困難な場合には、各構成団体の本社や専門的知識・技術を有する他公園勤務のスタッフが支援します。

当コンソーシアム職務分担表		
職名	担当業務内容	
前田森林公園等	マネージャー (統括管理責任者)	当コンソーシアムの管理運営総責任者 当コンソーシアムの統括責任者、安全衛生責任者、事故・災害時の対応、現金取扱責任者、札幌市との協議・調整、施設・設備・遊具安全管理監督、委託業務の調整・管理、地域関係団体との協議・調整、報告書作成、売上現金・金券取扱、危険物・農薬・肥料管理、原材料の在庫管理、その他公園緑地に係るマネジメント
	サブマネージャー① (統括管理責任者代理)	前田森林公園等の管理運営総責任者代行 防火管理者、自衛消防隊長、運動施設受付対応・利用調整、委託業務の調整・管理、事故・災害時の対応、巡視・巡回、広報・催事の企画・運営、事業計画策定、報告書作成、売上現金・金券取扱、商品管理、モニタリング、その他公園緑地に係るマネジメント
	サブマネージャー② (統括管理責任者代理)	前田森林公園等の管理運営総責任者代行 運動施設受付対応・利用調整、委託業務の調整・管理、事故・災害時の対応、巡視・巡回、広報・催事の企画・運営、事業計画策定、自主事業等企画・運営、報告書作成、売上現金・金券取扱、商品管理、モニタリング、危険物・農薬・肥料管理、原材料・消耗品の在庫管理、報告書作成、その他公園緑地に係るマネジメント
	サブマネージャー③	前田森林公園の緑地作業管理担当 緑地管理作業計画策定、巡視・巡回、運動施設整備対応、作業機械・備品管理、危険物・農薬・肥料管理、原材料・作業用消耗品管理、事故・災害時の対応、報告書作成、その他公園緑地に係るマネジメント
	サブマネージャー④	山口緑地の管理運営担当／前田森林公園の冬期管理担当 巡視・巡回、運動施設整備対応、作業機械・備品管理、危険物・農薬・肥料管理、原材料・作業用消耗品管理、事故・災害時の対応、報告書作成、その他公園緑地に係るマネジメント
	スタッフ(受付・事務)	広報・催事の企画・運営、報告書作成補助、現金取扱者、商品管理
	スタッフ(維持管理)	園地管理作業(清掃、草刈、植物管理、施設管理、その他)、有料施設メンテナンス作業、
	窓口スタッフ (パークゴルフ場受付)	パークゴルフ場窓口対応、現金取扱者、施設清掃、その他パークゴルフ場のサービス、バーベキュー広場利用者対応
	星置公園・明日風公園	サブマネージャー① (前田森林公園兼任)
スペース・デザインスタッフ (現場監督)		星置公園・明日風公園の緑地管理担当 緑地管理作業計画策定、巡視・巡回、運動施設整備対応、作業機械・備品管理、危険物・農薬・肥料管理、原材料・作業用消耗品管理、事故・災害時の対応、報告書作成、その他公園緑地に係るマネジメント
スペース・デザインスタッフ		星置公園、明日風公園の緑地管理全般
山口緑地	サブマネージャー① (冬期前田森林公園兼任)	山口緑地の管理運営担当 園地管理作業指揮監督、施設・設備安全管理監督、委託業務の調整・管理、事故・災害時の対応、危険物・農薬・肥料管理、ボランティアとの協議・調整、巡視・巡回、広報・催事の企画・運営、事業計画策定、自主事業等企画・運営、報告書作成、売上現金・金券取扱、原材料・消耗品の在庫管理、その他公園緑地に係るマネジメント

	スタッフ（維持管理）	パークゴルフ場・園地管理作業（施設管理、植物管理、その他）
	窓口スタッフ （パークゴルフ場受付）	パークゴルフ場窓口対応、現金取扱者、施設清掃、その他パークゴルフ場のサービス対応
	マルミプラススタッフ （現場監督）	西コースの緑地管理担当 緑地管理作業計画策定、巡視・巡回、運動施設整備対応、作業機械・備品管理、危険物・農薬・肥料管理、原材料・作業用消耗品管理、事故・災害時の対応、報告書作成、その他公園緑地に係るマネジメント
	マルミプラススタッフ	西コースの緑地管理全般
	横山造園スタッフ （現場監督）	西エリアの緑地管理担当 緑地管理作業計画策定、巡視・巡回、運動施設整備対応、作業機械・備品管理、危険物・農薬・肥料管理、原材料・作業用消耗品管理、事故・災害時の対応、報告書作成、その他公園緑地に係るマネジメント
	横山造園スタッフ	西エリアの緑地管理全般
コンソーシアム本部	事務局長 （緑化協会）	事業運営の統括管理責任者（事業の総責任者） 全体の予算編成と執行、決算の調整、役員会（理事会・評議委員会）の開催、規則の改廃、人事、契約等、公益財団の事業執行のすべてを総括
	事業課長 （緑化協会）	公園管理運営執行責任者 園地と公園施設の管理運営、事業推進の総括、札幌市との連絡・事業調整、公園管理・植物管理の指揮・指導、その他総合的なマネジメント
	事業課スタッフ（緑化協会）	公園施設間の事業調整、自主事業・契約等、札幌市との調整、都市緑化基金等
	総務課スタッフ（緑化協会）	庶務、人事、給与、文書、規定、研修、福利厚生
	経理課スタッフ（緑化協会）	経理、財産管理、予算・決算、情報セキュリティ
	スペース・デザイン本社	緊急時・イベント開催時等に公園・施設の支援
	マルミプラス本社	緊急時・イベント開催時等に公園・施設の支援
	横山造園本社	緊急時・イベント開催時等に公園・施設の支援

前田森林公園・星置公園・明日風公園・山口緑地 指揮・支援等スタッフ職務分担表（通年）		
	職名	担当業務内容
指揮・支援等スタッフ 緑化協会	担当課長	【公園管理運営執行責任者】 公園管理運営・事業推進の総括、札幌市との連絡・事業調整 公園管理・植物管理の指揮・指導、その他総合的なマネジメント
	事業課スタッフ	公園施設間の事業調整、自主事業・契約等、札幌市との調整、都市緑化基金等
	総務課スタッフ	庶務、人事、給与、文書、規定、研修、福利厚生
	経理課スタッフ	経理、財産管理、予算・決算、情報セキュリティ
	「みどりの価値向上プロジェクト」チーム	公園管理実務経験者の横断的なプロジェクトチームによる 公園の課題解決・価値や魅力の向上

ア-5 職責及び役割等の明示

公園に勤務するスタッフの責任と役割等を明らかにするため、氏名、職責、担当業務等を記載した配置図を管理事務所に掲示します。また、スタッフ一人ひとりが自覚と責任を持って業務に当たり、公園利用者がスタッフを容易に見分けられるよう、全員がネームカードを着用します。

ア-6 緑化協会の横断的事業推進体制「みどりの価値向上プロジェクト」

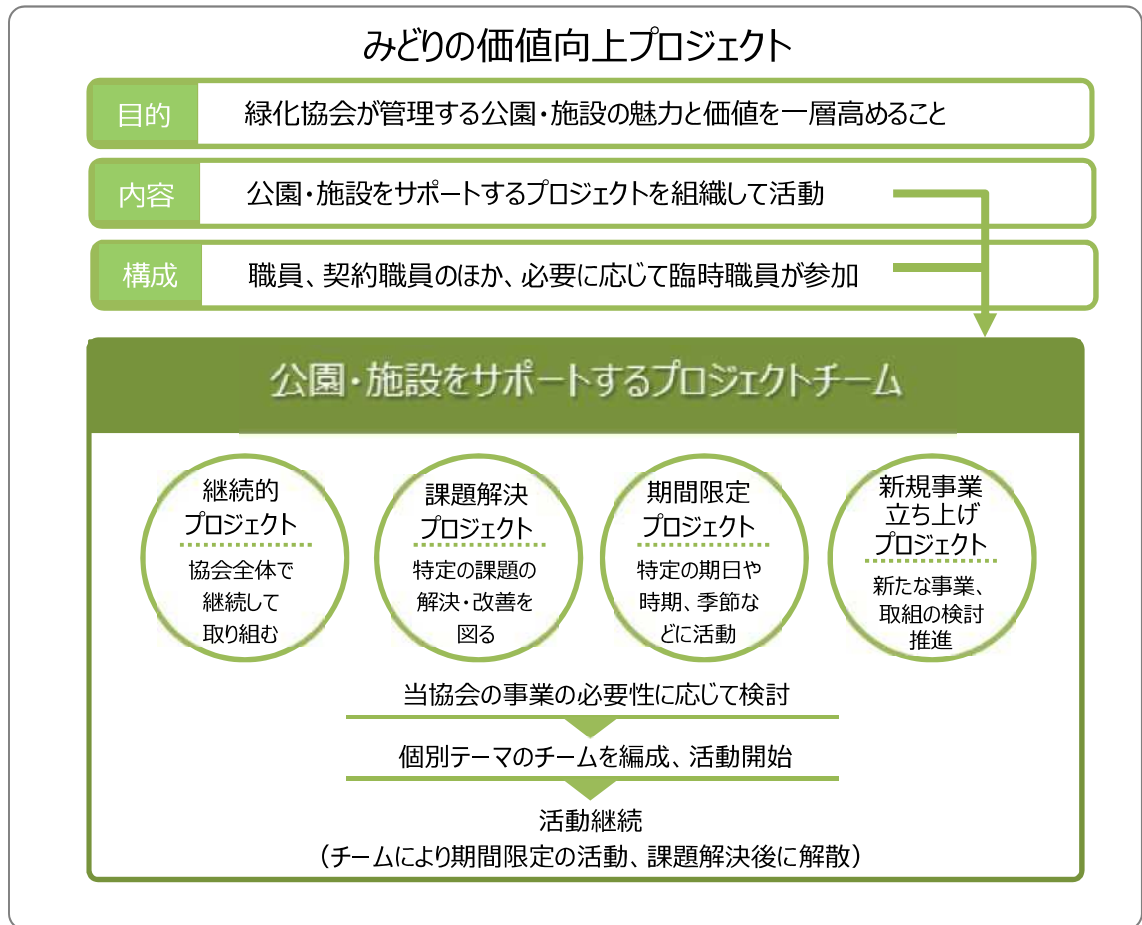
緑化協会では、勤務する公園・施設や担当範囲を超えた横断的事業推進体制である「みど

りの価値向上プロジェクト」を構築しています。全公園・施設にかかわる継続的な課題や期間限定の課題を、それぞれのテーマごとにメンバーを募ってチームを結成し活動に取り組んでいます。これらのプロジェクトチームの活動により、当公園を含めた各公園・施設の管理運営を効果的にサポートしています。

【プロジェクトの活動事例】

「外あそび」チーム

公園を活用した子どもの外遊びの推進とその指導者の養成を目的として、平成 28 年度から毎年度継続して外部の助成金を受け、多世代向け外遊びイベント「公園であそぼ！」や指導者養成講座「公園あそびのヒント講座」を開催しています。



ア-7 有資格者の技術等の共有・活用

現在、当コンソーシアム構成団体のスタッフが保有する、公園・施設管理運営に関係する主な資格は、次表のとおりです。これら有資格スタッフの知識、技術など、あらゆるノウハウを活用して、管理運営のレベルと利用者の満足度を高めます。

主な資格者一覧（緑化協会） 令和4年6月1日現在						
分野	資格名	人	分野	資格名	人	
植物・園地管理	樹木医/樹木医補	1/1	安全・サービス	遊具の日常点検講習	52	
	1級/2級造園施工管理技士	19/17		北海道農業指導士	58	
	1級/2級造園技能士	5/8		毒物劇物取扱責任者（一般/農業用品目）	1/1	
	1級/2級園芸装飾技能士	2/1		索道技術管理者	4	
	公園管理運営士	47		食品衛生責任者	19	
	グリーンアドバイザー	3		サービス接遇実務検定1級/準1級	1/2	
	北海道フラワーマスター	1		サービス接遇実務検定2級/3級	21/61	
	ハンギングバスケットマスター	1		全身性障害者移動介助従事者養成研修課程	3	
	グリーンマスター	1		サービス介助士/准サービス介助士	3/1	
	花育アドバイザー	2		労働・衛生	第一種/第二種衛生管理者	8/2
	メディカルハーブコーディネーター	2			職長・安全衛生責任者教育/安全衛生推進者	8/15
	園芸療法リーダー2級	1			ワーク・ライフ・バランス推進員	2
	緑の安全管理士	1			メンタルヘルス・マネジメント検定Ⅱ種	5
	家庭菜園検定2級	1			危険予知訓練トレーナー研修	1
	土壌医検定3級	2			社会保険労務士	1
芝草管理技術者2級/3級	2/14	潜水士	1			
1級/2級土木施工管理技士	5/1	救急救命	応急手当普及員/応急手当普及推進員		4/3	
建築物環境衛生管理技術者	3		普通救命講習・普通応急手当講習		98	
危険物・消防	甲種防火管理者/防災管理者	30/10	自然・生態系		プロジェクト・ワイルド	11
	乙種防火管理者	2		グローイングアップ・ワイルド	2	
	消防設備士甲種4類	1		自然再生士	6	
	危険物取扱者乙種第4類	25		2級ピオトープ計画管理士/施工管理士	4/7	
	二級ボイラー技士/ボイラー取扱技能	3/3		自然観察指導員	1	
資源循環	破碎・リサイクル施設技術管理士	1	生物分類技能検定3級	1		
	特別管理産業廃棄物管理責任者	3	安全運転管理者/副安全運転管理者	1/4		
作業機械・工具等	刈払機取扱作業安全衛生教育	64	車両系	大型特殊第一種運転免許	18	
	チェーンソーによる伐木等特別教育	45		大型第一種/第二種運転免許	2/1	
	フルハーネス型墜落制止用器具特別教育	32		牽引免許	1	
	ロープ高所作業特別教育	4		車両系建設機械（整地等）運転技能講習	20	
	振動工具取扱作業安全衛生教育	16		車両系建設機械（新解体用）技能講習	1	
	丸のこ等取扱い作業従事者教育	12		小型車両系建設機械（整地等）運転特別教育	27	
	アーク溶接技能者/ガス溶接技能者	12/11		フォークリフト運転技能講習/特別教育	9/3	
	巻上げ機（ウィンチ）運転特別教育	3		移動式クレーン運転士免許	1	
	自由研削といし取替式運転作業特別教育	10		小型移動式クレーン運転技能講習/特別教育	19/2	
	木材加工用機械作業主任者技能講習	7		ローラー（締固め）の運転の業務に係る特別教育	11	
博物館	学芸員	7		高所作業車運転技能講習/特別教育	24/2	
	公認上級スポーツ施設管理士	11		玉掛け技能講習/特別教育	21/1	
スポーツ	公認スポーツ施設運営士/管理士	9/9	電気	第一種/第二種電気工事士	2/4	
	日本陸上競技連盟公認審判員	2		1級電気工事施工管理技士	1	
	パークゴルフアドバイザー	6		低圧電気取扱業務特別教育	11	
	プール施設管理士/衛生管理者	3/6		高圧・特別高圧電気取扱業務（12H）特別教育	3	

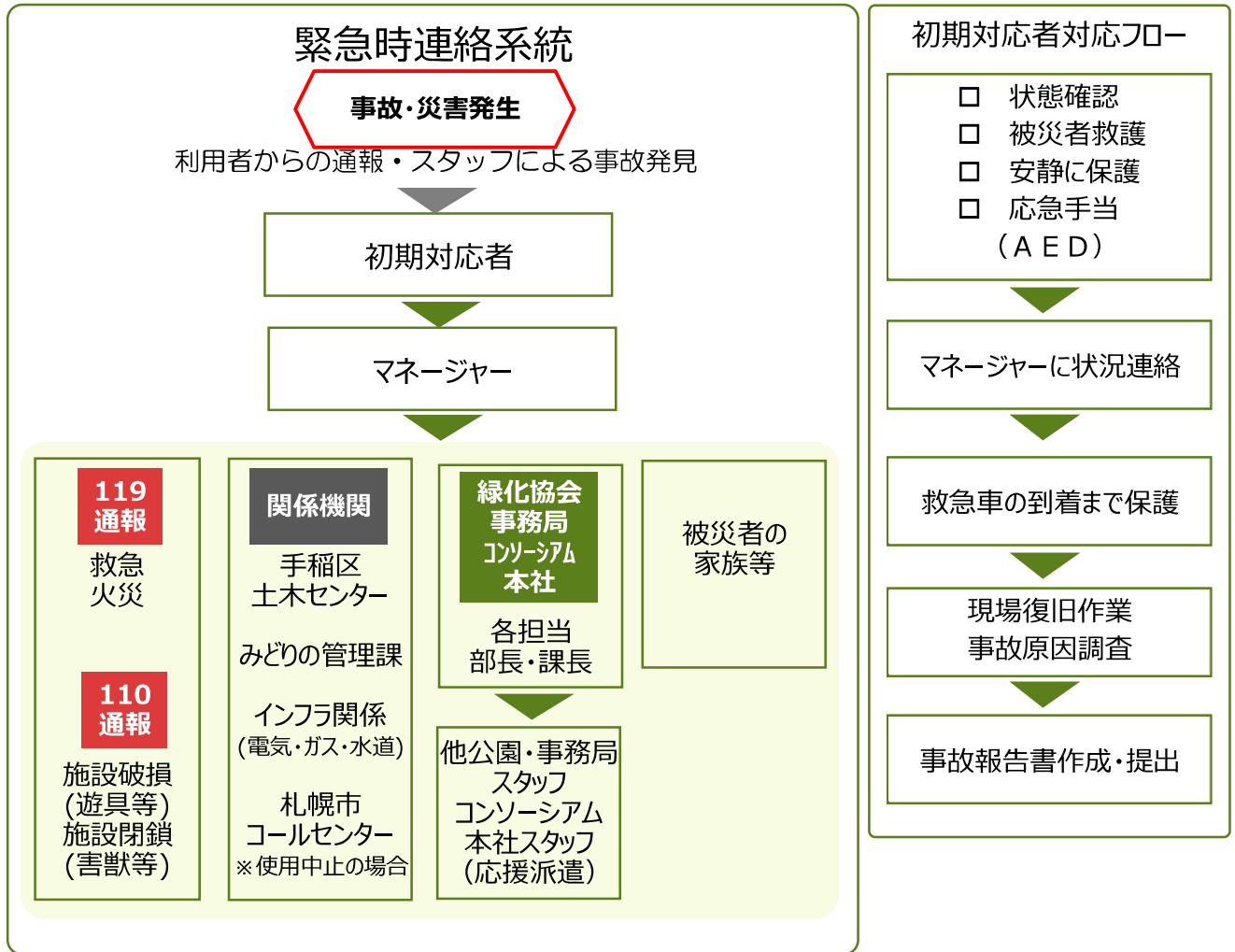
主な資格者一覧（スペース・デザイン）		令和4年8月1日現在	
資格名	人	資格名	人
1級造園施工管理技士	5	遊具の日常点検講習	5
2級造園施工管理技士	5	刈払機作業安全衛生講習	6
1級土木施工管理技士	1	伐木等（大径木）作業従事者特別教育	3
2級土木施工管理技士	6	大型特殊第一種運転免許	8
1級造園技能士	2	車両系建設機械（整地等）技能作業免許	8
2級造園技能士	1	小型移動式クレーン運転免許	8
1級建設機械施工技士	1	玉掛技能	9
2級植生施工管理技士	1	高所作業車運転技能	8
測量士補	1	地山の掘削及び土止め支保工作業主任者	5
監理技術者資格者	7	足場の組立て等作業主任者	1
街路樹剪定士	3	北海道農薬指導士	3

主な資格者一覧（マルミプラス）		令和4年8月1日現在	
資格名	人	資格名	人
1級造園施工管理技士	8	1級建設機械施工技士(第2種)	1
2級造園施工管理技士	1	2級建設機械施工技士(第2種)	1
登録造園基幹技術者	1	産業廃棄物処理（収集・運搬課程）	1
1級造園技能士	5	安全運転管理者	2
2級造園技能士	3	地山・土止め作業主任者	4
1級土木施工管理技士	8	型枠支保工	4
2級土木施工管理技士	2	小型移動式クレーン・玉掛作業	7
1級植生施工管理技士	2	職業訓練指導員(造園科)	1
2級植生施工管理技士	2	玉掛け作業	12
街路剪定士指導員	1	小型移動式クレーン運転免許	13
街路剪定士	5	車両系建設機械技能作業免許	4
北海道農薬指導士	4	車輛系建設機械運転（整地・運搬・積込、掘削）	6
チェーンソー作業従事者講習	2	車輛系建設機械運転（解体用）	2
型枠支保工の組み立て等作業主任者	1	車輛系建設機械運転（締固め用）	1
高所作業車運転講習修了者	7	総括安全衛生責任者	4
刈払機作業安全衛生講習	8	グリーンアドバイザー	1
公園管理運営士	1	サービス介助士	1
給水装置工事主任技術者	1	サービス接遇実務検定3級	1
遊具の日常点検講習修了者	4	スポーツリーダー	1
1級芝生施工管理技士	1	札幌市プレーリーダー	1
北国のガーデニング知識検定	1	普通救命講習	6
緑の安全管理士	4	除雪機械技術講習	7

主な資格者一覧（横山造園）		令和4年8月1日現在	
資格名	人	資格名	人
1級造園施工管理技士	10	1級植生施工管理技士	3
2級造園施工管理技士	5	2級植生施工管理技士	6
1級土木施工管理技士	8	測量士	1
2級土木施工管理技士	1	測量士補	1
1級造園技能士	11	2級建設業経理事務士	4
2級造園技能士	3	1級グリーンマスター	1
造園工事基幹技能者	5	2級グリーンマスター	2
北海道農薬指導士	24	1級室内園芸装飾技能士	2
街路樹剪定士指導員	1	2級室内園芸装飾技能士	2
街路樹剪定士	12	車両系機械（整地等）技能作業免許	19
乙種4類危険物取扱	1	不整地運搬車運転技能	9
伐木等（大径木）作業従事者特別教育	16	自然再生士	5
振動工具（チェーンソー以外）作業従事者	5	遊具の日常点検講習	6
刈払機作業安全衛生講習	20	職業訓練指導員	7

アー8 緊急時の連絡系統

公園で緊急事態が発生したときは、被災者の救護、被害の拡大防止、復旧等を図るため、次のフローのとおり、迅速かつ的確に対応します。



イ 従事者の確保、配置

(ア) 職員配置計画(業務毎の要件、雇用・就業形態、人数など)

都市公園の職員配置について、業務上の要件、雇用・就業形態(正規職員、非常勤、臨時雇用、契約職員等)、人数、様式 4-4 で記載した時給(正規職員の場合は時給換算額)など具体的に示してください。

イ 従事者の確保、配置

(ア) 職員配置計画

当公園の管理運営に当たっては、事業の効率化を図りつつ市民サービスの維持向上を目指して、次の5つの観点からスタッフを配置します。

- ① 公園管理や植物管理に関する高度な専門的知識・技術を有するスタッフの配置
- ② コンプライアンスに対する高い意識と接遇能力を有するスタッフの配置
- ③ 季節と業務量を勘案した弾力的な配置
- ④ 早出勤務・遅出勤務の導入など効率的なローテーションによる配置
- ⑤ 質の高い業務を安定的に遂行するため、勤務成績が優秀な契約職員やパートスタッフの継続雇用・配置

スタッフ配置表					
職名	実務経験年数・資格・要件	所属	雇用形態	時給換算額	配置人数
マネージャー (統括管理責任者)	公園管理経験 25 年 1 級造園施工管理技士(監理技術者)・1 級土木施工管理技士・公園管理運営士・上級体育施設管理士・イベント業務管理士・ピオトープ施工管理士・自然再生士・土づくりアドバイザー・グリーンアドバイザー・芝草管理技術者・北海道ガーデニングマイスター・第 1 種衛生管理者・2 級ボイラー技士・北海道農業指導士・乙種 4 類危険物取扱者・特別管理産業廃棄物管理責任者・防火・防災対象物点検資格者・防災士・酸素欠乏作業主任者・足場作業主任者・プール衛生管理者・プール施設管理士・職長安全衛生責任者・メンタルヘルス・マネジメント・その他公園 緑地管理関連機械取扱作業免許類 他	緑化協会	正規職員		通年 1 名
サブマネージャー① (統括管理責任者代理)	公園管理経験 8 年 1 級造園施工管理技士、1 級土木施工管理技士、1 級造園技能士、危険物取扱者丙種、普通救命講習Ⅱ、遊具の日常点検講習、農業指導士、サービス接遇検定 3 級、北海道ガーデニングマイスター、日商簿記 2 級・その他公園管理関連作業免許他		正規職員		通年 1 名
サブマネージャー② (統括管理責任者代理)	公園管理経験 6 年 2 級造園施工管理技士・公園管理運営士・乙種 4 類危険物取扱者・北海道ガーデニングマイスター・サービス接遇検定 2 級・ピオトープ管理士(施工部門)・その他公園管理関連作業免許他		正規職員		通年 1 名

サブマネージャー◎	公園管理経験 15 年以上 農業指導士、乙種 4 類危険物取扱者、遊具の日常点検講習、運行管理者、普通救命講習Ⅱ、サービス接遇実務検定 3 級、フルハーネス作業		正規職員 以外	通年 1 名
サブマネージャー◎	公園管理経験 10 年以上 農業指導士、遊具の日常点検講習、普通救命講習Ⅱ、遊具の日常点検講習、小型車両系（整地等）（3 トン未満）、サービス接遇実務検定 3 級		正規職員 以外	通年 1 名
管理事務所スタッフ （受付）◎	公園施設事務及び PC 情報処理経験者		正規職員 以外	通年 1 名
管理事務所スタッフ （受付）◎			正規職員 以外	4～11 月 1 名
スタッフ（維持管理） ◎～◎、◎～◎	公園維持管理業務経験者		正規職員 以外	4～11 月 11 名
スタッフ（維持管理）◎	公園維持管理業務経験者		正規職員 以外	4～11 月 1 名
スタッフ（冬期公園維持 管理）◎～◎	公園維持管理業務経験者		正規職員 以外	1～3 月 4 名
スタッフ（森林 PG 受付） ◎～◎	公園施設窓口事務経験者、 接客業務経験者	緑化協会	正規職員 以外	4～11 月 7 名
スタッフ（山口西 PG 受付）◎～◎			正規職員 以外	4～11 月 4 名
スタッフ（山口東 PG 受付）◎～◎			正規職員 以外	4～11 月 7 名
スタッフ（山口西エリア 受付）◎◎②①：3 名交代			正規職員 以外	4～11 月 3 名
管理事務所スタッフ （冬期受付）◎			正規職員 以外	1～3 月 1 名
スタッフ（現場監督）	公園維持管理業務経験者	スペース・ デザイン	正規職員	4～11 月 1 名
スタッフ（維持管理）◎			正規職員	4～11 月 1 名
スタッフ（維持管理）◎ ◎			正規職員 以外	4～11 月 2 名
スタッフ（現場監督）◎	公園維持管理業務経験者	マルミ プラス	正規職員	4～11 月 1 名
スタッフ（維持管理）◎			正規職員	4～11 月 1 名
スタッフ（維持管理）◎ ◎			正規職員 以外	4～11 月 2 名
山口西エリア維持管理 スタッフ ◎	公園維持管理業務経験者	横山造園	正規職員 以外	4～11 月 1 名
山口西エリア維持管理 スタッフ◎◎◎◎◎◎			正規職員 以外	4～11 月 5 名

前田森林公園等 指揮・支援等スタッフ配置表（通年）					
職名	実務経験年数・資格・要件	所属	雇用形態	時給換算額	人数
担当課長 （他公園勤務）	公園管理経験20年以上、1級造園施工管理技士、公園管理運営士、農業指導士	緑化協会	正規職員	[Redacted]	1名
事務局スタッフ 事業課・総務課・経理課	公園管理運営経験		正規職員 正規職員以外		13名
みどりの価値向上 プロジェクトチーム	当協会内専門技術有資格者等 公園管理運営実務経験		正規職員 正規職員以外		最大約 50名

上記のほか、自主事業開催時や緊急事態発生時には、次のとおり支援スタッフのほか、必要に応じて委託業者等を配置し、適切な体制をとります。

① イベント・プログラムの開催時等の支援体制

- a 緑化協会事務局スタッフ 最大13名
- b みどりの価値向上プロジェクトスタッフ 最大50名

② 緊急事態発生時の支援体制（災害・事故等の規模により適宜配置）

- a 緑化協会事務局スタッフ、緑化協会他公園管理スタッフ
- b 委託業者（展望ラウンジ、クラブハウス飲食店管理等）

③ 保守・保安体制

電気保安委託業者、機械警備委託業者、配管設備業者等

(イ) 職員採用計画

配置計画に基づく業務毎の採用予定、採用の方法を具体的に示して下さい。(現在都市公園の業務に従事している職員を継続的に雇用する場合には、その内容についても記載してください。)

(イ) 職員採用計画

(イ) - 1 経験のあるスタッフの採用と配置

現在、当公園の管理運営に従事している経験豊かな正職員を引き続き配置するとともに、勤務成績が優秀な有期雇用契約職員を継続雇用することで、管理の質の安定的な向上を図ります。

① 統括管理責任者（緑化協会）：マネージャー

当公園のマネージャーには、公園管理運営の経験を有した緑化協会職員を配置します。

② 統括管理責任者代理（緑化協会）：サブマネージャー

マネージャー不在時に対応する代理者として、当公園のサブマネージャーに緑化協会職員を配置します。

③ 契約職員（緑化協会）：サブマネージャー

契約職員については、就業評価に基づき優秀な人材を継続雇用し確保します。

④ 公園・緑地維持管理スタッフ（当コンソーシアム）

当公園や他公園で維持管理業務等に従事した経験が豊富で必要な資格を持つスタッフを配置します。

(イ) - 2 新規スタッフの採用方法

新規スタッフを採用する場合は、優秀な人材確保のため、次の方法で募集等を行い、職務にふさわしい人物を公正に選考します。

- ① ハローワークや地域の求人情報誌、折込みチラシ、公式ホームページ等により広く募集します。
- ② 新規採用にあたっては、業務や職種別に適性試験等を実施し、公正に採用を判断します。